

事業報告書

令和2年度



社会福祉法人聖啓会

特別養護老人ホーム菜の花

ショートステイ菜の花

デイサービス菜の花

居宅介護支援事業所菜の花

目次

法人役員.....	1
法人活動報告.....	2
特別養護老人ホーム菜の花 事業報告.....	3
支援業務.....	8
機能訓練.....	8
栄養業務.....	10
介護業務.....	14
令和2年度実施年間行事.....	19
全体行事.....	20
ボランティア.....	22
実習生受け入れ.....	23
ショートステイ菜の花 事業報告.....	24
デイサービス菜の花 事業報告.....	26
居宅介護支援事業所菜の花 事業報告.....	28
医務計画（健康サポートセンター報告）.....	29
消防・防災・災害 事業報告.....	30
寄付・寄贈 報告.....	31
令和2年度 苦情対応報告.....	32
令和2年度 苦情・対応 一覧.....	34
内部研修報告 一覧.....	35
外部研修報告 一覧.....	37
事業報告の附属明細書.....	39

法人役員

理事

氏名	住所
(理事長)星野 正明	静岡県藤枝市
星野 美奈子	静岡県藤枝市
金原 俊輔	静岡県浜松市
川口 節子	静岡県静岡市
神尾 芳典	静岡県藤枝市
亀甲 良明	静岡県牧之原市

任期 平成 30 年度決算に関する定時評議委員会の終結の時から
令和 2 年度決算に関する定時評議委員会の終結の時まで

監事

氏名	住所
杉山 重人	静岡県菊川市
松村 奈緒子	静岡県藤枝市

任期 平成 30 年度決算に関する定時評議委員会の終結の時から
令和 2 年度決算に関する定時評議委員会の終結の時まで

評議員

氏名	住所
石田 治子	静岡県藤枝市
岩崎 丈夫	静岡県藤枝市
加納 裕子	静岡県島田市
佐藤 芳憲	静岡県静岡市
西沢 良孝	静岡県藤枝市
八木 あさよ	静岡県藤枝市

任期 平成 29 年 4 月 1 日から
平成 32 年（令和 2 年）度決算に関する定時評議委員会の終結の時まで

氏名	住所
牧野 小百合	静岡県藤枝市

任期 平成 31 年度 評議員選任解任委員会開催の日から
平成 32 年（令和 2 年）度決算に関する定時評議委員会の終結の時まで

法人活動報告

令和2年度 第一回理事会（令和2年5月28日開催）（決議の省略）

種別	No.	議題
報告事項	第1号	理事長専決事項・評議員選任結果・これまでの経緯
議案	第1号	平成31年度 監事監査報告・事業報告・決算
議案	第2号	社会福祉充実計画
議案	第3号	定款変更
議案	第4号	評議員会招集

令和2年度 第一回評議員会（令和2年6月14日開催）（決議の省略）

種別	No.	議題
議案	第1号	事業報告・計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録
報告事項	第3号	社会福祉充実計画
議案	第2号	定款変更

令和2年度 第二回理事会（令和3年3月4日開催）（リモート）

種別	No.	議題
報告事項	第2号	理事長専決事項・これまでの経緯（令和2年3月以降）
報告事項	第3号	法人監査結果報告
議案	第5号	定款細則変更（法人監査による指摘事項の改善）
議案	第6号	役員報酬及び費用弁償規程変更（法人監査指摘事項の改善）
議案	第7号	経理規程変更（法人監査による指摘事項の改善）
議案	第8号	就業規則変更（法人監査による指摘事項の改善）
議案	第9号	旅費規程変更（法人監査による指摘事項の改善）
議案	第10号	補正予算
議案	第11号	令和3年度事業計画
議案	第12号	令和3年度予算
議案	第13号	評議員選任解任委員選出（離職に伴う欠員補充・現課長選出）

特別養護老人ホーム菜の花 事業報告

1 施設運営の方針

<ご利用者対応指針>に関する報告

- ① 身体拘束 委員会の開催は少なかったが、身体拘束廃止の必要性は職員全体に浸透している。現在はスピーチロックの廃止に向けて注意喚起をしている。
- ② 生活環境 職員が自宅から持参した観葉植物が増えきた。南側のベランダのお花も随時植え替えて各居室からも眺められる事も継続できた。コロナ感染予防の為外部の清掃業者による清掃はできなかったが、日常点検チェック表にて定時に感染予防を行った。
- ③ 排泄援助の個別化 排便時のショックに注意した。下剤は極力使用しないよう個別に下剤の与薬方法を検討した。水分や納豆、ヤクルト、ヨーグルトの摂取を、支援した。又、腸の蠕動運動を促す運動を取り入れた。個別に24時間排泄の希望に添った援助を行った。
- ④ 食形態 管理栄養士が主体となり担当者会議と摂食委員会の中で検討している。
- ⑤ 入浴時間 殆どの方が日中でも満足されて居られる様子。
- ⑥ 認知症 家族の面会制限があり認知症の進行が危ぶまれたが、ガラス越し面会やフリーダムによる健康倶楽部の活躍と機能訓練士の室内散歩が効を奏した。
- ⑦ 健康管理 嘱託医は毎週2回の回診と看護師による健康サポート部が毎日の健康管理・健康診断・緊急時に対応。今期も感染症（インフルエンザ）は0名であった。コロナ感染症の予防に努めた。

<職員処遇指針>に関する報告

- ① 人財 16名が退職。22名入社。3月現在99名（パート含）で運営。
- ② ワークライフ 職員一人一人のライフスタイルの中で勤務。シフトは94に分けている。
- ③ 福利厚生 コロナの関係で忘年会、秋祭り、など各行事の開催ができなかった。年末には数人交代として茶菓子などで反省会を開催し職員間の交流を図った。
- ④ 外部、内部研修 別紙研修一覧表参照。

<地域や関係機関との連携>に関する報告

- ① 協力病院との連携 緊急搬送は別紙参照。相談員、ケアマネとの相互の連携を図った。
- ② 地域の行事の参加 4月 河川の清掃(町内行事)
10月 白髭神社祭り
11月 烏帽子山祭り(ご祝儀での対応となった)。
- ③ 地域町内会に加入 4月に継続手続きをした

- | | |
|------------|--|
| ④ 地域防災拠点 | 藤枝市施設長会で福祉避難所協定を結ぶ |
| ⑤ 地域交流室 | コロナ感染予防の為使用を控えた。
リモートによる各種会議に使用した。 |
| ⑥ ボランティア | コロナ感染予防でボランティアの受け入れは中止した |
| ⑦ 関連施設の勉強会 | 特養施設長会主催のコロナ感染予防ウエブ研修を行った |
| ⑧ 施設主催 | 菜の花だよりで、施設内のイベントを家族や地域に発信。 |
| ⑨ 「菜の花だより」 | 毎月発行。ご家族、関連施設に発送。 |
| ⑩ ホームページ | 毎月更新。 |
| ⑪ 地域の学校 | コロナ感染予防の為交流は控えた。 |
| ⑫ 自然との触れ合い | コロナ感染予防に為外出レクは在宅系サービスに限り実施した。入居者に対しては感染予防を留意の上施設内散歩を行った。
花壇の花を見たり、風に触れたり季節感を味わった。 |
| ⑬ 地域の名産 | 名物を取り入れた献立は栄養事業報告参照。 |
| ⑭ 地域のレストラン | 外食レクは実施できなかった。施設内で握り寿司やラーメンなどお好みのメニューを提供した。舌鼓倶楽部で果物や和菓子を楽しむ会を頻回に開催した。 |

2 令和2年度の評価及び来期の課題

<評価>

新型コロナウイルス感染予防を重視した為に、開設9年目の計画通りの内容での運営はできなかったが、感染者を出さなかった。

優良事業所表彰を受けたことは大きな評価となった。

<課題>

委員会、ユニットリーダー会の開催。

職員間のコミュニケーションが取れる施設の職風土作り。

令和3年度に向け（10年目）求められる介護力の向上。

<10年目に向けて>

- ① 介護のスキルUPを図る。
 - ・ユニットリーダーの育成→引き続き研修を行ないマネジメントスキルアップを図る。
 - ・目標管理の徹底。自己評価により達成感を感じる。
 - ・内部研修を充実させる→毎日12時30分～13時まで。講師は職員。
 - ・ユニットケアの実践→企画運営をユニット単位で任せる。
 - ・受け持ち制を実践→介護職員と入居者との信頼関係を深める。
 - ・口腔ケアの充実→口腔ケア研修計画。
- ② 職員の満足度を上げる。

- ・福利厚生を充実→職員間のコミュニケーションを良好にする。
 - ・遣り甲斐感→処遇改善。目標管理（自分の目指す事を明確にする）
 - ・心の健康づくり→介護士長を中心に（面接、相談窓口を作る）
- ③ 新型コロナ感染予防を図る。職員全員に義務付ける（感染源を持ち込まない）
- ・職員の出勤時に感染予防チェック表の記載→行動を把握し感染の危険性がないか確認。
 - ・感染のリスクをなくす→家族の健康状態や環境の報告。
 - ・ワクチン接種を完了する。
- ④ 制度改革に添いケアの向上を図る。
- ・自立支援促進→評価、支援計画書の作成
 - ・科学的介護の推進に努める→科学的介護推進に関する評価の記載。
 - ・認知症基礎研修の参加。
- ⑤ リスクマネジメントの強化を図る。
- ・安全対策委員会の開催→安全対策担当養成研修の参加。
- ⑥ 入居者の生きがい、楽しみが充実できるプランを立てる。教養娯楽費の有効活用を図る。
- ・倶楽部活動の充実を図る。昨年同様「美味しい」「楽しい」「嬉しい」時を企画。
 - ・面会、外出の機会を多く持つ。



相談業務

介護が必要となった高齢者で、日常生活が困難になった場合など、介護者等からの入所申込を受け、優先入所指針に基づいて、入所の必要性の高い方から入所の受け入れができるよう努めました。尚、受け入れの際はコロナ感染予防対策に基づいて慎重に対応しました。在宅で介護をしているご家族が、様々な理由により介護が困難になった場合や、一人暮らしの場合の方から、優先入所検討委員会を設けて随時入所手続きをして参りました。

支援報告

入所されたご利用者様が長期に生活できる施設として安心快適にお過ごしいただけるよう、できるだけの支援をしました。必要に応じて受診手続きの支援を行いました。

また、ご利用者様やご家族からの相談を受け、ご利用者様の心身の状況等についてご家族様との報告・連携を密に取らせていただきました。

相談報告

1. 常にご利用者様の心身の状況・その置かれている環境等の明確な把握に努め、ご利用者様またはご家族様に対し、相談に適切に応じると共に必要な助言とそのほかの援助に努めました。
2. ご家族様との「連携」を充実させ、必要な助言・援助を行うことに努めました。
3. 優先入所制度の円滑な運用に努力しました。

延利用者数

摘要	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
うち男性	390	403	398	342	341	330	361	354	340	330	294	310	4193
うち女性	1710	1732	1653	1724	1827	1770	1785	1676	1823	1804	1653	1853	21019
延利用数	2100	2135	2051	2066	2168	2100	2146	2030	2163	2134	1947	2163	29250

平均介護度

うち男性	3.692	3.747	3.855	3.909	3.909	3.909	3.970	4	4.179	4.009	4	4	3.931
うち女性	4.105	4.107	4.178	4.145	4.128	4.136	4.111	4.119	4.136	4.1	4.089	4.096	4.12
平均介護度	3.932	3.933	3.9	3.917	3.955	4.009	4.008	3.992	3.968	4.002	4.014	4.036	4.0255

稼働率

稼働率(%)	100%	101%	97.6%	105%	100%	100%	101%	9.66%	100%	101%	100%	100%	92.9%
--------	------	------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-------

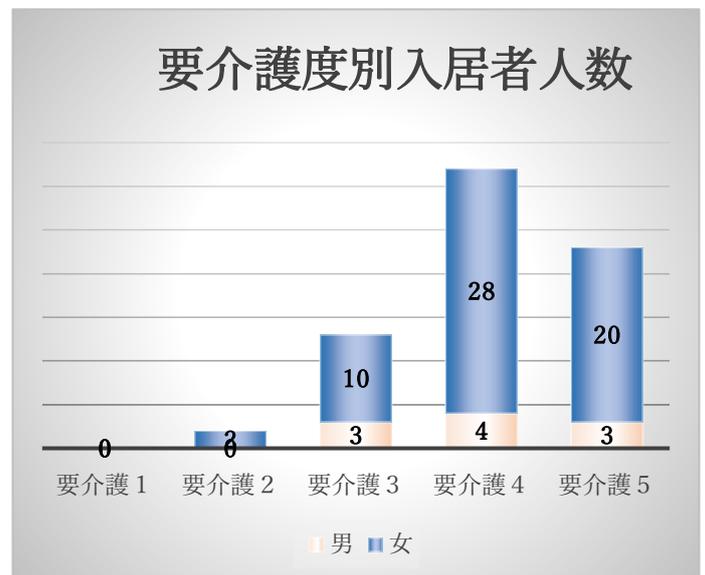
要介護度別入居者数 (R3.3.31 現在)

	女	男	介護度
要介護1			
要介護2	2		2
要介護3	10	3	13
要介護4	28	4	32
要介護5	20	3	23
総計	60	10	70

保険者別入居者数 (R3.3.31 現在)

保険者名称	女	男	総計
藤枝市	53	7	60
焼津市	4	2	6
島田市	2		2
浜松市	1		1
川根本町		1	1
総計	60	10	70

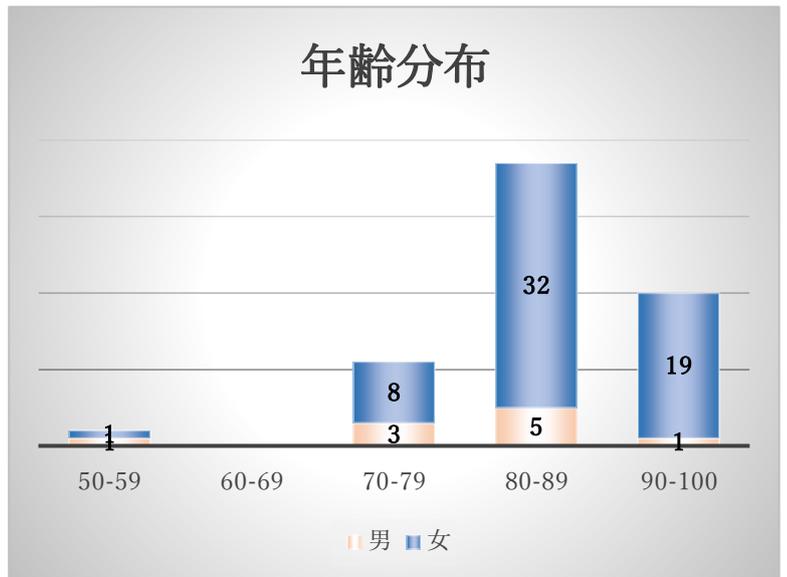
要介護度別入居者人数



年齢分布 (R3. 3. 31)

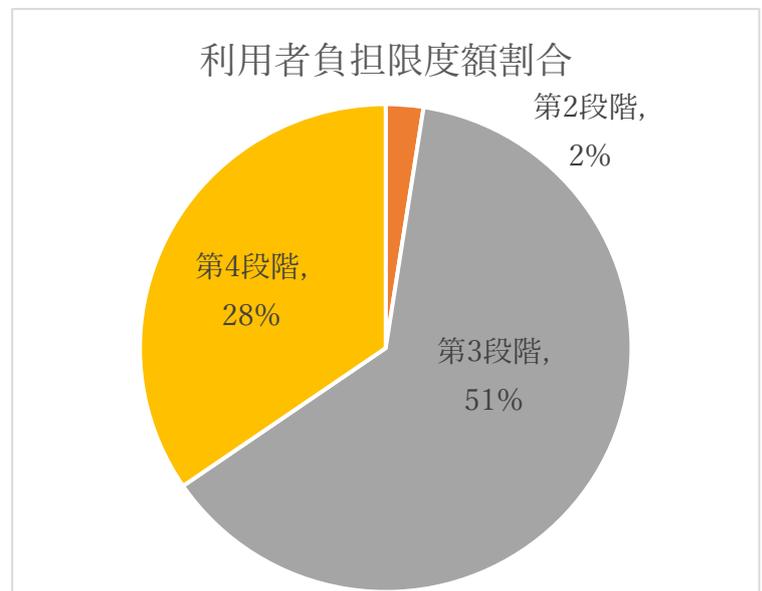
年齢	女	男	総計
50-59	1	1	2
60-69			
70-79	8	3	11
80-89	32	5	37
90-100	19	1	20
総計	60	10	70

負担段階	人数	割合
負担限度 1	0	0
負担限度 2	14	2%
負担限度 3	36	51%
負担限度なし	20	28%



優先入所検討委員会 開催状況

開催回	開催日	決定人数
第 99 回	R2. 6. 9	2
第 100 回	R2. 7. 14	5
第 101 回	R2. 10. 13	2
第 102 回	R2. 11. 10	3
第 103 回	R3. 1. 5	1
第 104 回	R3. 2. 9	1
第 105 回	R3. 2. 18	3
第 106 回	R3. 3. 9	1



利用者負担軽減状況

社会福祉法人等利用者負担軽減

負担段階	人数	割合
社福減免	7	10%

新規入所者数 16 名

退所者・内訳

総退所者数	看取り	転院	自宅	病死
16	10	6	0	0

支援業務

- ・支援計画（ケアプラン）の作成を行いました。その人らしさを重視した個別性のある計画を心掛けました。
- ・更新時と概ね 6 ヶ月ごとのアセスメントを実施してその都度フェイスシートの見直しを行いました。変更ある場合は随時行いました。
- ・6 ヶ月ごとのモニタリングを行いモニタリングシートに記入をしました。
- ・状態に変化がある場合は、できるだけ担当者会議を開催し、家族や多職種の専門的な見地からの意見を伺い支援計画の見直しを行いました。
- ・区分変更時は家族や多職種から意見を伺い担当者会議を開きプランの変更を行いました。
- ・退院カンファレンスを行い変更のある場合や予後の状態や留意点などを共通理解し今後の支援の見直しを行いました。
- ・看取りの担当者会議を行い利用者様が残り少ない日々を安楽に過ごせるように他職種やご家族様と連携し調整や依頼などを行いました。
- ・多職種やご家族様との担当者会議の調整を行いました。担当者会議を開催してご家族にプランの説明をして 同意して署名をしていただき交付しました。
- ・入院 退院 受診同行を相談員や看護師とともに交代で行いました。
- ・新型コロナ感染予防対策を講じてご家族面会をガラス越しで実施して、本人とご家族のコミュニケーションを図り本人家族が安心して入居が続けられるようにしました。

担当者会議開催回数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	9	15	11	17	12	9	8	12	12	14	11	6	146

また、介護保の更新時の書類の提出をして認定がスムーズに行なわれるように、認定調査の立ち合いをしました。

介護保険認定調査立ち合い回数 12回



機能訓練

利用者様・ご家族様の意向を尊重しながら、身体機能の維持・向上を目指し、下記の事業を実施した。

- ・他職種と共同して個別機能訓練計画書の作成を行なった。
- ・個別訓練（歩行訓練、立ち上がり訓練、立位保持訓練、移乗訓練、マッサージ、関節可動域訓練、車椅子散歩等）
- ・集団訓練（TV体操・ラジオ体操・リハビリ体操）
- ・担当者会議への出席
- ・委員会への出席、各行事、倶楽部活動への参加
- ・車椅子の確認等
- ・食事介助

月別訓練実施延人数

4月（個別訓練 160名、集団訓練 169名）	5月（個別訓練 140名、集団訓練 177名）
6月（個別訓練 148名、集団訓練 197名）	7月（個別訓練 159名、集団訓練 205名）
8月（個別訓練 125名、集団訓練 161名）	9月（個別訓練 156名、集団訓練 155名）
10月（個別訓練 170名、集団訓練 186名）	11月（個別訓練 133名、集団訓練 124名）
12月（個別訓練 146名、集団訓練 186名）	1月（個別訓練 133名、集団訓練 176名）
2月（個別訓練 126名、集団訓練 171名）	3月（個別訓練 162名、集団訓練 143名）

- ・今後は、コロナの感染予防の為施設外訓練の制限があり施設内での訓練メニューを検討し可能な限りの運動を取り入れます。
- ・運動不足を視野に入れ便秘対策として、下肢筋力、腹筋強化、マッサージなどを計画して積極的に実施します。

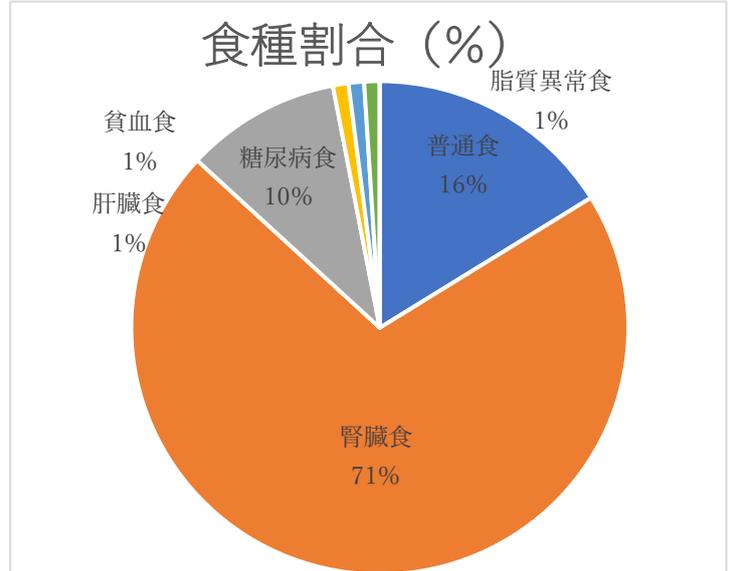


栄養業務

多職種共同で栄養ケアマネジメントを実施しました。施設ケアプランに基づき、栄養計画書を作成し、定期的に評価、状態の変化に合わせて見直しを行いました。給食業務がスムーズに行われ、毎食、安全でおいしいお食事を提供できるように、日々技術向上の努力を行っております。引き続き、おいしく楽しく気持ちよく、食事ができる工夫をしていきます。

1、食種 (R3.3.15 現在)

食種	食数 (人)	割合 (%)
普通食	11	16
腎臓食	49	70
肝臓食	1	1
糖尿病食	7	10
胃潰瘍食	0	0
貧血食	1	1
脂質異常食	1	1
痛風食	0	0
脾臓食	0	0
合計	70	100



2、食形態 (R3.3.15 現在)

	形態	食数 (人)	割合 (%)
主食	米飯	16	23
	軟飯	9	13
	全粥	36	51
	ソフト粥	8	12
	パン	1	1
	合計	70	100

	形態	食数 (人)	割合 (%)
副食	常菜	33	47
	やわらか	27	39
	ソフト	10	14
	ミキサー	0	0
	合計	70	100

※その他、個別対応食、ハーフ食、ターミナル食、禁止食、夜食など入居者様個人の状況に合わせて提供

3、栄養給与目標量と栄養給与量(令和2年度)

栄養給与目標量 (R2 年度)

	エネルギー	たんぱく質	脂質エネルギー比	カルシウム	鉄	ビタミン A	ビタミン B1	ビタミン B2	ビタミン C	食塩相当量	食物繊維総量
	k g	g	%	m g	m g	μ g	m g	m g	m g	g	g
男	1500	62	20~25	700	7	800	1.2	1.3	100	7.5	20
女	1300	55	20~25	650	6	650	0.9	1.0	100	6.5	17

栄養給与量 (R2.1~R2.12)

エネルギー	たんぱく質	脂質エネルギー比	カルシウム	鉄	ビタミン A	ビタミン B1	ビタミン B2	ビタミン C	食塩相当量	食物繊維総量
k g	g	%	m g	m g	μ g	m g	m g	m g	g	g
1222	47.5	22.3	578	5.9	577	1.13	1.01	39	6.6	10.0

4、行事食

4月	2日	全ユニット	春の味覚献立（たけのごはん）
5月	1日	全ユニット	おやつ 柏餅風ねりきり
	5日	全ユニット	こどもの日献立
6月	26日	全ユニット	冷やし中華提供
7月	7日	全ユニット	七夕そうめん献立
	21日	全ユニット	土用の丑の日献立
8月	11日	全ユニット	夏の涼献立（そうめん）
9月	7日	全ユニット	敬老会お祝い膳
	18日	全ユニット	おやつ おはぎ提供
10月	6日	全ユニット	秋の味覚献立（栗ご飯、さんまの塩焼き）
	21日	全ユニット	秋の味覚献立（松茸ご飯、柿なます）
11月	4日	全ユニット	まぐろ丼提供
	10日	全ユニット	秋の味覚献立（松茸ご飯）
	13日	全ユニット	秋の土用の丑の日献立
12月	10日	全ユニット	にぎり寿司提供
	24日	全ユニット	クリスマス献立
	31日	全ユニット	年越しそば
1月	1.2日	全ユニット	おせち料理
	7日	全ユニット	七草粥
2月	2日	全ユニット	恵方巻き
	12日	全ユニット	バレンタイン献立
3月	3日	全ユニット	ひなまつり献立
	17日	全ユニット	おやつ ぼたもち提供
	23日	全ユニット	開設記念日お祝い膳

季節に合った献立にし、食事が楽しみになるようにしました。また料理の温度、彩り、盛り付けにも注意し、よりおいしく食べていただけるように心がけました。入居者様お一人お一人に合わせたお食事内容になるように努力しました。衛生管理に気をつけました。行事食の他に、各ユニットごとに企画された調理・おやつレクリエーションの材料の準備、参加をしました。



4月3日 春のちらし寿司



5月5日 こどもの日献立



7月7日 セタそうめん



7月21日 ひつまぶし



9月7日 敬老会お祝い膳



10月6日 秋の味覚献立



11月4日 まぐろ丼



11月13日秋の土用の丑の日



12月10日 にぎり寿司



12月24日 クリスマス献立



12月31日 年越しそば



1月1日 おせち料理



12月2日 節分



3月2日 ひなまつり献立



3月23日 解説記念日

1月20日 おせちやお寿司に飽きたらカレーが美味しいね!



1月15日 みんな大好きお寿司!

お寿司の日はみんな食が進みます。見ているこちらも嬉しくなります。



味覚の秋... 秋の釜飯、栗ご飯、サンマの塩焼き、松茸ご飯、柿なます、どれも好評でした



5月 舌鼓倶楽部 新茶

新茶をぬるめの温度で丁寧に淹れました。お菓子は「菜の花しぐれ」です。



7月17日 ラーメンの日



先月、「食べたいね〜」、「食べたいねえ」、「あはは」と話題が出ていたラーメンが登場しました。やったあ!

7月22日 富士すいかそと割り



介護業務

菜の花開設9年目を終えました。介護業界全般を覆う人材不足問題は昨年度同様、深刻な問題でもあります。介護職員の流出を抑え（出口の手当）、新たな人材に選ばれる施設（入口の魅力）となる介護のマネジメント力も問われてきております。人材確保が難しい今だからこそ、目先にとらわれず先を見据えた組織作りと人材育成の重要性を日々感じた1年でもありました。『介護職員が輝きを保ち続ける職場』＝『高齢者の心安らぐ生活』＝『魅力ある職場』になれるよう職員一同邁進していきます。

1、教育委員会

昨年度より「人材育成」＝安定した施設経営、その為には人材教育をどのように行なっていくかが一番重要な課題であると考え、各ユニットリーダーが務めていた委員から実習指導者研修、アソシエーター研修、キャリアパス研修など教育に携わる研修を受講した職員を中心とした委員会活動を試みましたが、予定していた活動が遂行困難な状態でした。本来であれば新人研修をはじめ必要とされる内部研修（事故・身体拘束・看取り・感染褥瘡等）も担当委員会と内容協議のもと開催が望ましいのですが、**実情はコロナの感染予防対策が主体となり開催頻度は減少しました。**『菜の花の介護サービス品質維持』の根本を担う委員会である事を再認識し、活動の足掛かりにしていきます。

2、摂食委員会

コロナ禍で外出、外食の機会が減少した為、施設内での舌鼓倶楽部を頻回に開催しました。季節の果物、新茶、和菓子、洋菓子などをユニット毎に楽しみました。又、食事のメニューも個々の希望に添うよう配慮しました。

平成28年度に続き3回目の試みとなる夜食・ブランチを開催いたしました。（期間：令和2年12月31日～令和3年1月2日）大皿を使用したビッフェスタイル、ひと手間加えたオリジナルメニュー開発、ワンプレートでのお食事など各ユニット様々な工夫がみられました。職員の創意工夫が見られたと同時に、盛り付けや配膳、食器洗い等を率先して手伝ってくださる、同じテーブルの方にお食事をとり分けてくださるなど入居者様の『きらりホット』の一幕をたくさん感じ取る事の出来た催しでした。その反面提供される食事が通常と異なっていたため入居者様おひとりおひとりの口腔機能問題に直面致しました。通常とは異なる食事だからこそ、見逃しやすく、気づきにくい口腔・嚥下機能の低下を察知することもできました。

3、入浴・排泄委員会

24時間の排泄パターンを参考に個々の排泄援助を心掛けました。1時間に1回以上の排泄の希望にも対応しました。この地道な対応は優良事業所の表彰の評価に繋がったと考えています。引き続き個別の対応は行っていきます。

『オムツの適正な活用方法とその方に合った排泄支援』という目的も達成できました。適正な活用方法の検討に当たり、各階のオムツ在庫を確認、デットストックオムツの見直しを行ないました。委員会内でデットストックオムツになる原因を検討したところ、

『選択基準が分からないのではないかと？』『種類が多彩に有るため混乱するのでは』と言った声がかれました。

『選択基準』については身体のどこを基準にオムツを選択するか、実際にオムツを着用、個々の体型とオムツサイズの適正使用を学びました。『多彩な種類』に関しては4種類使用していたテープ式オムツを伸縮タイプオムツ（Sサイズ、Mサイズ）の2種類へ切りかえを行ないました。またその方に合った排泄支援として入居者様の排泄状況を再確認しました。

① 昼夜共にオムツ対応 (尿意便意無)	② 失禁も有るがトイレに座れば排泄可能 (言語での尿便意訴えなし)	③ 日中はトイレ使用 夜間のみパット交換 (尿便意有)	④ 昼夜共にトイレ使用 (尿便意有)
------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------

4、感染症対策委員会

令和2年年度のインフルエンザ発症者は『ゼロ』でしたが2月から新型コロナウイルスが猛威を振るっており施設内での注意喚起を呼び掛けています。職員は抵抗力があるため(感染しても発症しない)不顕性感染状態となっており意識せず菌の排出を行っている場合があるため日頃の手洗い、マスク着用等を厳守など標準予防策に努めました。

この1年間は新型コロナ感染予防の研修を感染状況に合わせ委員会は頻回に行いました。感染した場合を想定し、ゾーニングに必要な物品も取り揃え、防護服の着方、手袋の装着法など看護師を中心に感染予防対策を徹底しました。

昨年度より褥瘡ケアマネジメントへの取り組みは引き続き行なっています。褥瘡委員が褥瘡スケールに則り観察を実施、看護職員、栄養士、介護職員とともに一人一人のご入居者様の拘縮・姿勢・寝姿・食事量・排泄状態などを検討、評価を実施しております。必要に応じてケアの見直しや医療的処置を図り、研修を開催いたしました。ケースを通じ、褥瘡発生を誘発する「全身的」「皮膚」「社会的」の3つの原因と「体位変換」「栄養管理」「清潔」「摩擦除去」「体圧分散用具活用」の5つの予防を知識として習得する必要性を強く感じました。

5、身体拘束委員会

身体拘束に対する施設の指針を周知、身体拘束ゼロを実践しています。入居者の方がたは新型コロナ感染予防の為施設外に出る事が出来なくなり、家族や自然界との触れ合いが遮断傾向である現状は精神的な拘束に繋がると危惧しています。

『言葉』を扱う介護職員として『感覚鈍麻』に陥らないよう常に自己覚知に努め一層「言葉」掛け「いたわり」の心使いが必要となります。今後も身体拘束ゼロの取り組みを推進していきます。

6、事故対策委員会

令和2年度の事故総数27件(内訳:転倒11件、転落5件、表皮剥離3件、薬チェック漏れ1件、誤嚥1件、尻もち2件、その他2件)と前年と比較してマイナス91件と事故発生は減少傾向となりました。

2階での事故7件となり主な要因の中では、その他(表皮剥離)3件があがりました。表皮剥離しやすい為の皮膚状態の認識不足や搔痒感から擦られた事からの発見があります。今後は移乗や離床・臥床の際に確認をするように細心の注意を払って介助に取り組むように事故防止対策を実施していきます。

3階での事故内容としては、同一の入居者様での繰り返しの事故が多く挙げられます。室内、トイレ、廊下での事故があり、転倒(8件)と転落(3件)とフロア以外での想定外な報告があります。今後は、職員間で見回りの情報共有や入居者の排泄状況の把握を行い巡視に努めていきます。

4階では転倒(1件)、転落(2件)、とあり、中でもその他に異物混入が2件あります。日常の確認を怠り見落としが事故原因とされています。今後はプレートを付け2重チェックを取り組むようにします。

1件ですが、転落からの骨折が挙げられました。予期せぬ行動を起こす可能性は常に転倒リスクの意識を高めて情報共有を実施していきます。意外な事故も出ていますが、誤薬(1件)、誤嚥(1件)、薬チェック漏れ(1件)と職員間の情報不足やケアの統一と原因分析を行うなど、事故防止対策していきます。

7. 看取り委員会

令和2年度は退居された方16名、逝去による退居は10名でした。医療機関への転院は6名でした。入居されてから最期の時を迎えるまで、お一人お一人の入居者様に真摯に向きあってまいりました。夜間吸引に対応できるよう令和元年度より喀痰吸引研修に参加、「痰の吸引」「経管栄養」の知識と技術を修得し、これから求められであろう高齢者施設に向けての人材育成を開始致しました。次年度も引き続き喀痰吸引研修に参加予定です。

2月より看護師による夜勤も開始しました。吸引、急変対応、看取り時もマンパワーUPし、更に手熱いケアが提供できるように体制を強化しました。

残念ながら新型コロナ感染予防の為十分にご家族様の付き添いができず申し訳なく思っております。こんな時にと、以心伝心されたのかお亡くなりになる方は少なく入居者の皆様がコロナに負けず頑張られました。

亡くなる瞬間には、決してお一人にならないように、職員はご家族様の分までご本人の傍に付き添わせて頂きました。

8. 防災委員会

令和1年度より防災委員会を開始しました。令和1年11月に襲来した超大型台風19号に備え、全職員を対象とした『非常電源取扱い』研修、防災備品整備などの事前準備を行い台風にも備えました。『夜勤時震度6の災害発生。限られた人員の中何をすべきか』という想定のもと研修を開催いたしました。非常における通信手段の確保、情報の共有化と可視化、指示伝達系統・運営体制の再構築など災害発生直後、3時間後、6時間後、1日後など時間経過に伴い必要とされる事柄を洗い出し、話し合いを行いました。前述いたしました台風は予測可能な災害のためある程度の『防災』は対応できますが、地震や津波は予測不可能な災害のため、職員の日頃からの研鑽や施設の取組みが災害発生後の『減災』に結び付いていきます。災害発生直後を想定した避難訓練のみならず、次年度からは発災から〇〇後を想定した防災の取組みも実施していきたいと考えています。

「福祉事業所の大規模災害対策セミナー」も参加しました。新型コロナ感染も防災と同様に日頃の予防と瞬時の対応に応じられるよう努力していきます。

9. クラブ活動など

書道クラブ：第2、第4水曜日開催を予定していましたが、11月からは新型コロナ感染予防の為講師による活動は中止しました。

華道クラブ：第3水曜健康クラブ日開催。季節の花々に触れ、ロ々に「きれいね」と喜んで下さいます。麻痺がある方も参加しやすく、完成した作品をホールや居室に飾る事で、他のご入居者様や御家族様との楽しい会話に花を添えています。

手芸クラブ：第3金曜日開催。根付などを作成しました。作品を作る過程だけではなく、完成した作品を使う事で新たな喜びにつなげることが出来ました。

絵手紙クラブ：第4金曜日開催を予定していましたが、10月を最後に活動は中止しました。年賀状は何とか絵手紙倶楽部の作品で間に合いました。作品はそれぞれの個性溢れたユニークな牛が並びました。

音楽クラブ：コロナ禍での大きな楽しみとして職員のフルート演奏やギター演奏をユニットで大いに楽しみました。歌を唄う事で昔を思い出し気持ちのいいひと時を過ごせました。生のフルート演奏が聴ける贅沢なクラブです。

健康クラブ：機能訓練士が中心となり活動しています。フリーダムから流れる懐メロと映像にあわせ皆さん一生懸命身体を動かされています。

外出ができなくなり運動不足を解消する為に、便秘の皆さんには腹筋を使う体操も取り入れました。朝のラジオ体操は、職員も一緒に行い元気に体操する姿がみられました。

舌鼓倶楽部；本年度は頻回に開催しました。外出の機会が無くなった為に入居者の方がたの気分転換を図る為に季節毎の味を楽しむ機会を多くもちました。

4階 誕生会・ギター演奏会・将棋倶楽部・スナッフ写真

イチゴを可愛く切って、他のフルーツと一緒に飾りました。イチゴのソースのケーキも可愛くできました。美味しそう！



ご家族様の写真等
お待ちしております。



9月20日 富士ユニット 誕生会

5月21日 4階富士 誕生会



「お誕生日おめでとう！」とみんなでお祝いしました。ユニットには、皆さんの笑顔とお祝いの拍手が響きました。お祝いのケーキも綺麗です。



4月5日 3階星カラオケ大会

始めは皆さん遠慮がちで、カラオケが「BGM状態」でしたが、途中から職員の声掛けでノリノリに。次回はリクエストを踏まえてもっと大勢で楽しみたいです。



「ちょっとそこまで」お散歩に



10月27日 舌鼓倶楽部…柿といんごを沢山いただき、皆で楽しみました。





8月12日 舌鼓倶楽部



クッキーやどら焼き、アイス、ジュースなどいろいろなおやつを用意し、お好きなものを選んでいただきました。どれもおいしいの？これはなあに？あれもこれもおいしいな。などと笑顔と会話に花が咲きました。
 /アルコールビールで乾杯！ご姉弟で乾杯！お友達と乾杯！と、おやつを囲んで心が通い合いハッピーなひと時でした。



書道クラブ

華道倶楽部

絵手紙倶楽部

5月8・29日 3階 華道倶楽部



7月31日 絵手紙倶楽部



20200501 華道倶楽部



9月23日 書道倶楽部

今日のお題は「祝日」です。9月22日は 敬老の日、23日は 秋分の日です。だんだん秋めいて、素敵な季節になりました。



令和2年度実施年間行事

全体行事

月日	内容	
4月2日	開設記念日	各フロア
7月1日～7月7日	七夕	各フロア
9月7日	菜の花敬老会 お食事会	各フロア

開設記念のお祝い膳を囲んで



お雑様の前で記念撮影

お雑様を見て、思い出が紐解かれていきます。
お供えたお料理や、ご兄弟のこと、ご両親のこと…
いくつになってもお雑様は特別ですね。



12月22日・26日 クリスマス会



12月31日 恒例 年越しラーメン



恒例となっている 大晦日の「年越しラーメン」年の暮れのテレビ番組を楽しみながら、あまり食べる機会のないカップ麺を（しかも夜遅くに）食べるのも、また密かな楽しみです。

祝敬老会
特別養護老人ホーム華の苑



各階毎に敬老会を開催しました。アットホームな良い式になりました。

5月 舌鼓倶楽部 新茶

新茶をぬるめの温度で丁寧に淹れました。お菓子は「菜の花しくれ」です。



実習生受け入れ

新型コロナ感染予防の為受け入れは最小限としました。
実習場所はデイサービスとし、実習生と家族の健康状態を把握の上での受け入れとしました。
実習の終了後のデイ利用者と実習生の健康は問題ありませんでした。

学校名	日付	延べ人数
県立中央特別支援学校	2月1日～5日	1名

ショートステイ菜の花 事業報告

定員：20名 特別養護老人ホーム菜の花併設

ショートステイ菜の花は10年目に突入し、毎月平均2名程の新規利用者と契約をしました。令和元年度の年間稼働率は、前年度を2.5ポイント下回り39.2%となり、52%の目標を達成することができませんでした。

新型コロナウイルスの感染拡大により外出やボランティアなど大きく制限された中、おやつ作り、フルーツ生演奏会等のレクリエーション、誕生会やクリスマス会などの季節ごとのイベントに力を入れ、ショートステイのユニット内も日々賑わいを見せております。

6月～9月にかけて、新規の受け入れに慎重になり、また昨年度から続く新型コロナウイルス感染拡大によるサービスの利用控えにより、利用者延べ人数が200名前後を低迷してしまう事態となりました。施設として「感染しない・させない」を合言葉に少し厳しいと思われる程の制限を設け、ショートステイ菜の花に関わる全ての方の安心と安全な環境づくりに取り組みつつも、ショートステイ菜の花の魅力を訴える営業活動にも力を入れ、サービスを継続できる状況を保っています。

令和3年度も年間稼働率52%以上を目標に掲げ営業活動を図っていきます。そして利用者一人一人が「ショートステイを利用してよかった」「菜の花にいれば安心だ」と思ってもらえるような明るいユニット作りを行なっていきます。

利用状況

実人員	延人数	1日あたり人員	1人あたり日数	稼働率
367人	2863人	7.84人	7.80日	39.1%

利用者数 実人員

月	男	女	計
4	6	28	34
5	5	24	29
6	5	24	29
7	6	24	30
8	6	24	30
9	5	22	27
10	6	24	30
11	5	28	33
12	5	22	27
1	5	26	31
2	5	24	29
3	4	34	38
計	63	304	367

利用者延べ人数

月	男	女	計
4	51	184	235
5	36	219	255
6	24	170	194
7	44	161	205
8	31	170	201
9	30	154	184
10	29	183	212
11	25	216	241
12	49	221	270
1	37	247	284
2	26	241	267
3	25	290	315
計	407	2456	2863



デイサービス菜の花 事業報告

定員 : (月)～(金)25名 (土)20名
 特別養護老人ホーム菜の花併設
 営業日 : 月曜日から土曜日 (年末年始を除く)

営業時間 : 午前9時30分～午後4時45分までの7時間15分

デイサービス菜の花では平成27年8月より個別機能訓練を開始いたしました。筋力維持向上を目指す利用者様大変喜ばれております。また、1日の基本スケジュールに集団体操を午前・午後と1日に2回3種類以上取り入れ、ADLの維持・向上に力を入れています。例年、毎月さまざまな行事を実施し利用者様の心身の活性化を図っておりました。が、世界を巻き込んだコロナウイルス感染症の蔓延により、自粛生活や活動縮小に追い込まれ利用者様から大人気だった調理・おやつレクは、おやつレクのみになりました。カラオケや大きな声で笑う事も制限され、年に2回のミニ運動会、外出行事、小学生との世代間交流、社会性や生きがいを持つための取り組みとして行ってきた大学生や民間ボランティアの受け入れも中止となりました。現在は「感染しない・させない」をモットーに、制限のある中でどのような活動ができるか、利用者様に楽しんでいただけるかを試行錯誤しています。

既存利用者様の増回や市内居宅支援事業所からの紹介もありましたが、コロナ感染予防対策による自粛や厳しい利用制限が加わり、利用率は昨年度(62.7%)から今年度は(47.5%)に減少しました。この事実を重く受け止め、利用率回復に向けて全力で対策を練る所存です。

利用人数

	利用人数 (人)	延人数 (人)	営業日数 (日)	平均利用 (人)	利用率 (%)
4月	45	362	26	13.9	57.5
5月	35	288	26	11.1	42.7
6月	34	301	26	11.6	47.8
7月	38	336	27	12.4	51.3
8月	33	300	26	11.5	48.0
9月	30	288	26	11.1	45.7
10月	30	280	27	10.4	43.1
11月	28	267	25	10.7	44.1
12月	29	283	27	10.5	43.2
1月	28	263	24	11.0	45.3
2月	29	288	24	12.0	49.7
3月	33	334	27	12.4	51.0
計	392	3590	311	11.6	47.5



手作りの「菜の花神社」でお参り



昔懐かしいお正月行事



晴天日 急遽お散歩決行！



収穫したレモンを使ったオリジナルレモンテイ



季節行事「豆まき」



毎月恒例のお楽しみ工作レク



デイサービス開設記念日



大人気のおやつ作り

居宅介護支援事業所菜の花 事業報告

事業の概要

要介護者が自宅での生活を続けられるように居宅サービス計画の作成等を行います。
2人体制で運営しております。

居宅サービス計画作成数の推移

	非該当	要支援		要介護					計
		1	2	1	2	3	4	5	
4月	0	11	11	14	20	4	6	1	67
5月	0	11	11	14	19	4	6	1	66
6月	0	9	12	16	18	4	8	1	68
7月	1	10	13	15	19	5	10	1	74
8月	2	11	13	17	18	5	8	1	75
9月	4	13	15	17	18	6	8	1	82
10月	4	13	13	18	15	10	5	1	79
11月	5	14	14	19	14	12	4	1	88
12月	5	14	13	19	13	11	4	1	80
1月	4	16	12	21	12	9	5	1	80
2月	4	15	13	20	11	9	6	1	79
3月	4	14	13	19	11	11	6	2	80

医務計画（健康サポートセンター報告）

< 実施可能な医療行為 >

① 褥瘡処置	01名
② 浣腸摘便	00名
③ 人工肛門	03名
④ インスリン注射	00名
⑤ 簡単な創処置	02名
⑥ 在宅酸素療法	00名
⑦ 胃瘻経管	00名
⑧ 薬剤管理	70名
⑨ バルーン管理	03名

< その他の医療行為 >

1 感染症対策	
① インフルエンザ	00名
② 疥癬	00名
③ 「MRSA」	00名
④ 結核	00名

< お亡くなりになった方 >

1 「施設」で亡くなった方	16名
① 「看取り」で亡くなった方	10名
② その他の方	00名
2 「病院」で亡くなった方	06名

< 医務会議（健康サポートセンター会議） >

毎月1回

< 急変時の対応 >

1 救急車にて救急搬送先

① 藤枝市立総合病院・・・8名

< 健康診断 >

1 入所者定期健康診査

① 実施期間 平成2年10月04日～12月21日

② 実施機関 ほしのクリニック

③ 実施人数 70名

④ 実施内容 胸部レントゲン・心電図・血液検査・尿検査

⑤ 費用 施設負担（検査内容により家族負担あり）

< 予防接種 >

1 インフルエンザ予防接種

① 実施期間 令和2年11月05日～11月26日

② 実施医師 嘱託医 星野正明先生

③ 実施場所 菜の花各ユニット

④ 実施人数 67名

消防・防災・災害 事業報告

<消防・防災>

1 消火・通報・避難・救護・総合訓練

令和2年7月27日 10:00~11:00

参加者 38名(職員、入居者、利用者、消防設備業者)

「訓練内容」

地震訓練、通報訓練、消火訓練、避難訓練を連動して実施（日中体制時）。
避難終了後、職員・一部のご利用者で水消火器を使用して初期消火訓練を実施し、
消防設備の取扱いについては、点検業者・防火管理者からの説明を受けました。

2 「社会福祉施中部支部設防災」総合防災訓練

令和2年11月27日 13:30~14:00

参加者 36名(職員、入居者、利用者、消防設備業者)

*本年度は静岡県中部支部施設長会で菜の花が理事となり、その中で**防災担当リーダー**の任を受け中心的な役割を果たしました。

「訓練内容」

災害発生（水害、地震）時の施設相互連携訓練
被災施設に職員及び食料品の支援や入居者の避難先とした訓練

今年は新型コロナ感染が静岡県内増大に伴い連携訓練は電話連絡のみ実施しました。

<災害>

1 感染症発生施設への応援職員派遣事業

令和2年10月22日

菜の花 介護職員1名 応援派遣登録

2 新型コロナウイルス感染症発生施設への応援職員派遣対応訓練（中部支部）

令和3年01月13日

参加者 静岡県老人福祉施設協議会 中部支部役員15名

訓練目的 新型コロナウイルス感染症発生による職員応援要請への迅速な派遣体制の整備

「訓練内容」 グループに分かれ訓練シナリオに沿ってロールプレイ

本年度より消防、防災に災害を加えました。

災害時の施設間連携は重要と考え新型コロナウイルス感染時の対応も必置となります。今後もあらゆる機会を有事に備えて訓練を重ねて参ります。



寄付・寄贈 報告

年月日	寄贈者	品目・数量
令和2年10月08日	藤枝市茶手揉み保存会	手揉み茶
令和3年02月12日	赤い羽根募金会	胡蝶蘭 2鉢

令和2年度 苦情対応報告

令和3年3月31日
苦情解決管理責任者 川口節子

菜の花は今年で開設10年目を迎える事ができました。

今期も皆様から頂戴しましたご意見が少なく、心配しております。苦情は多い程、職員にとりましては、気付きの機会、支援の振り返り、など、成長の機会になります。是非ともお気付きの点、ご意見をお寄せ戴けますよう宜しくお願い申し上げます。

今年戴いた苦情は下記の4件で全てショートステイご利用の方からでございます。ショートステイを中心に施設全体で、接遇の研修を行い再発防止に努めて参ります。

記

- 1 期間 令和2年4月1～R3年3月31日
- 2 件数 4件
- 3 事業所内訳
 - ・ショートステイ菜の花 4件

令和2年度 苦情・対応 一覧

受付年月日	事業区分	苦情内容	今後の対応方法
R2.08.21	ショート	入浴介助が男性で、嫌だったから「できるからいいよ」と言ったら浴室から出て行ってしまった、介助はしてもらえなかった。	入浴の希望をしっかりと聞いておく。 同性の介助を希望する場合は希望に添うようにする。 利用者に対する接遇・サービスについて学習する。
R2.09.09	ショート	退所の利用者の方が職員に「まだ荷物を出していないと催促された」口調も強かった。	居室の片付けは利用者が退所されてから片付け清掃を行なう。 居室に入る時はノックをして了解を得てから入室する。 言動に注意する。 ショート会議で接遇の研修を計画する。
R2.10.03	ショート	送迎時間の間違えでお待たせしてしまった。 何時もと送迎時間が違ったのに（早い時間に変更した） 何時もと同じ時間に迎えに行ってしまった。 送迎時間の変更が伝わらなかった。	送迎表の書き間違えをなくす。 送迎表の確認をする。 送迎時間は家族の都合で変更する事もあることを認識する。
R2.10.06	ショート	デイサービスの利用者のご家族方より「ショートの相談員が計画書にサインをしいに家に来たその時デイサービスに言付けを頼んだが伝わっていなかった。デイを休むと伝えたのに、迎えに来てしまったり、仕事中に電話もかかってくるまで迷惑した」	言付けを聞いたら、責任を持ってメモに内容を記入し、相手に伝え、伝わったかの確認をしていく。 伝達方法を職員間で徹底を図る。

内部研修報告 一覧

No.	開催年月日	研修名	主催者	会場	参加者職種	参加者氏名	研修内容
1	令和2年04月17日	褥瘡対策に関する計画書について	感染委員会	地域交流室	看護・介護・相談員	望月、佐藤、神奴、奥津、坂上、施設長	褥瘡の危険因子、予防計画、モニタリング
2	令和2年06月01日	新型コロナ感染対策	感染委員会	地域交流室	介護・看護 (新入社員)	森田、大塚、佐藤、鈴木、奥津、井戸端、大畑、深瀬	新型コロナ感染対策、感染対策マニュアルの周知
3	令和2年07月15日	食中毒について	感染委員会	地域交流室	介護・看護用・務	服部、中村、森田、青島、他5名	食中毒の危険性、予防の周知
4	令和2年08月20日	新型コロナ感染対策	感染委員会	地域交流室	介護・栄養士	奥津、石原、酒井、井戸端坂上、中村	新型コロナ感染発生時の対応
5	令和2年09月02日	新型コロナ感染対策	感染委員会	地域交流室	介護・看護ケア マネ、相談員	坂上、福原、中村、條野、佐藤	新型コロナ感染対策、ガラス越し面会
6	令和2年11月18日	新型コロナとインフルエンザの感染対策	森田看護師	地域交流室	介護・事務 相談員	加藤、大関、	新型コロナ、インフルエンザ感染対策
7	令和2年11月20日	新型コロナとインフルエンザの感染対策	施設長	地域交流室	介護、看護	石原、酒井、沢本他5名	新型コロナ、インフルエンザ感染対策
8	令和2年11月21日	新型コロナとインフルエンザ感染対策ガウンテクニック	施設長	地域交流室	各職種	佐藤(葉)、早川、小林、杉本、佐々木、藤平、山下、坂上、松永	新型コロナ、インフルエンザ感染対策ガウンテクニックを学ぶ
9	令和2年11月25日	新型コロナ感染対策受診者対応。休憩、食事時の対応	施設長	地域交流室	各職種	池田、林、大関、奥津他8名	受診者の隔離、職員食堂、休憩の方法感染予防対策職員間で統一
10	令和3年12月02日	福祉施設のクラスター対応	介護士長	地域交流室	デイ職員、職種	大澤、大畑、岸畑、青島	福祉施設のための感染症クラスター対策マニュアルの周知

11	令和3年01月25日	感染予防日常点検	介護士長	地域交流室	各職種	各フロア1名	感染日常点検の必要性とチェックリストに基づき点検の順守
12	令和3年02月02日	現任研修健康診断について	施設長	地域交流室	看護師	木下、小川、加藤、大石	入居者健康診断の進め方フローチャートマニュアル作成
13	令和3年02月08日	現任研入居までのプロセス	施設長	4階ステーション	看護師、相談員	坂上、福原、中村、條野、佐藤	申し込みから入居時までのプロセス
14	令和3年03月18日	福祉施設におけるコロナウイルス対応	施設長	地域交流室	各職種	中村、佐藤、堀田、高柳、他	ウェブ研修の資料にて学習(ゲーニング)
15	令和3年03月30日	新型コロナ予防接種	施設長	地域交流室	看護師	小川、條野、加藤、服部	インターネット情報で学習(ワクチンの取り扱い)

外部研修報告 一覧

No.	開催年月日	研修名	主催者	研修会場	参加者職種	参加者氏名	内容	研修結果報告
1	令和2年6月1日	新型コロナ感染対策研修会	静岡県社会福祉法人	菜の花地域交流室	施設長課長	川口節子	新型コロナ感染対策	ウェブ配信で解りやすかった
2	令和2年7月1日	令和2年度第1回総会	県老施協	シズウェル	施設長	川口節子	R1年度事業報告他	役員改選やコロナの感染予防の情報交換ができた
3	令和2年7月20日	デイサービス運営について	株式会社ルネッサンス	県総合福祉会館	デイ主任	早川有希子	ケアマネジャーに選ばれるデイサービス	地域で一番になるデイに向けての学習ができた
4	令和2年7月17日	静老施協総会第1回	静老施協	クーポール会館	施設長	川口節子	R1年度事業報告,決算報告災害対策	県内の特養施設感染者はゼロ今後の予防対策が必要災害時の一斉メールの必要製を感じた
5	令和2年10月20日	高齢者の食支援講座	静岡県中部健康センター	島田土木事務所	デイ副主任	大畑由佳理	食の問題の見つけ方とその対応	口のメンテの大切さが解った
6	令和2年10月22日	県老施協ブロック長会議	県健康福祉課	県総合福祉会館	施設長課長	川口節子	災害時応援派遣事業について	災害時の施設間派遣職員の連携の重要性
7	令和2年10月28日	県老施協中部支部理事会	県老施協	県総合福祉会館	施設長	川口節子	防災協定による防災訓練について	集団感染の場合の応援体制を整える
8	令和2年11月12日	感染症発生施設への対応	静岡県老人福祉施設協議会	シズウェル	介護士長	堀田孝弘	防護服の着脱、ゾーニングの考え方	感染症発生時の対応の研修のビデオ撮りに参加

9	令和3年2月18日	市老施協中部支部総会第2回	静老施協	クーポール会館	施設長	川口節子	R3年度事業計画、実践報告	菜の花の実践報告をした
10	令和3年3月15日	R2年度藤枝市社福役員会	社会福祉法人藤枝市社協	ウェブ研修	介護士長	堀田隆弘	食中毒及び2021年HACCPに基づく衛生管理について学ぶ	ウェブ配信の為理解し易かった
11	令和3年3月18日	コロナの感染最前線	ドクターメイト	ウェブ研修	事務主任	中村瑞穂	コロナ最前線で働く医師が施設職員に伝えたいこと	実際コロナ治療に係った医師の話が聞けて良かった

事業報告の附属明細書

該当事項ありません

社会福祉法人聖啓会

